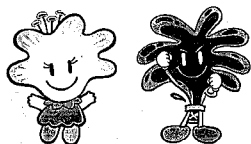


答辞を述べぬ石井さん

シリーズ
輝いてるね!!



広報



いつ

3/15

3月1日、三市中蒲准看護学院（日宝町）の卒業式が視聴覚センターで行われ、看護医療に携わる金の卵たちが2年間の学生生活に別れを告げました。

今年度、同学院の卒業生は34名。式では卒業生を代表して石井和子さんが「講義や実習を通して学んだことを生かし、思いやりのある看護に努めていきます」と答辞を述べました。今回、卒業する皆さんは准看護婦資格試験を受けて、4月から病院勤務につく人もいれば、看護婦を目指して専門コースに進学する人もいます。この春、看護に生きる34名の女性たちは新しい舞台に立って、それぞれの道を切り開いていきます。（関連記事P2～3）

広報にいつは資源保護のため再生紙を利用しています

偉大なる田舎をめざして 私たちの郷 新津

1996 NO.298